

❀ いわくに

No.53
令和2年2月発行

市議会だより



錦城橋から岩国城を望む

〈主な内容〉

議会構成の紹介…………… 2	常任委員会審査報告…………… 8～9	特別委員会行政視察報告…………… 12
12月定例会のあらまし…………… 2	各常任委員会の委員…………… 10	議会ホームページのお知らせ…………… 12
一般質問…………… 3～7	特別委員会中間報告…………… 11	編集後記…………… 12

議会構成の紹介

■ 議長 藤本 泰也



■ 副議長 片岡 勝則



	常任委員会					議会運営委員会
	総務	教育民生	経済	建設		
委員長	広中 信夫	武田伊佐雄	松川 卓司	山本 辰哉	越澤 二代	
副委員長	田村 博美	丸茂 郁生	小川 安士	中村 豊	中村 雅一	
委員 (五十音順)	石原 真	石本 崇	片山 原司	植野 正則	植野 正則	
	大西 明子	桑田 勝弘	越澤 二代	貴船 斉	大西 明子	
	片岡 勝則	桑原 敏幸	藤本 泰也	中村 雅一	田村 博美	
	河合 伸治	長岡 辰久	細見 正行	広中 英明	姫野 敦子	
	重岡 邦昭	姫野 敦子	松本 久次	藤重 建治	松川 卓司	
	瀬村 尚央	矢野 匡亮			矢野 匡亮	

※令和元年11月15日の市議会臨時会で新たに選任されました。

12月定例会のあらまし

令和元年12月定例会が11月26日から12月20日までの25日間の会期で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告1件、例月出納検査の監査結果に関する報告3件、令和元年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の補正予算、新たに制定される日の出公園条例及び認定ことも園条例、斎場条例の一部改正、指定管理者の指定など24議案が上程されました。

一般質問は、12月5日から9日まで18人の議員が登壇し、米海兵隊岩国航空基地所属のFA-18とKC-130の墜落事故や乗員による飛行中の規律違反に対する対応など基地に関する諸問

題、防災・減災対策、錦帯橋に関する課題、医療・福祉に対する取り組み、岩国駅東口における再開発についてなど、幅広い分野について質問が行われました。

12日から開催された各常任委員会では、付託された議案について慎重な審査が行われました。

定例会の最終日には、各常任委員会の委員長から審査状況について報告があり、全て原案のとおり可決されました。

審査報告の後、防災・減災対策推進調査特別委員会の委員長から、平成30年7月豪雨災害の復旧作業の進捗状況等について中間報告がありました。

一般質問

市政を聞く

12月市議会定例会では、18人の議員により、基地に関する諸問題や防災・減災対策など、50項目にわたる質問が行われました。

基地問題



松川 卓司
(憲政会)

問 FA-18とKC-130Rの墜落事故調査報告について

防衛省の対応は、適切な事故報告がなされなかったことを含め、移駐後は誠意にかけていると感じる。移駐後、騒音は高まり、今回の事故で安心・安全対策に対する不安も高まっている。岩国基地は極東最大級の基地になったと言われるが、そうであれば他の街と横並びではなく、最大級の配慮があるべきではないか。

答 改善の取り組み状況や効果を継続的に確認する

移駐後は騒音が増大している状況にあり、実効性のある騒音軽減措置や騒音対策が必要である。住宅防音工事の事務所、店舗等への拡大、再編交付金の延長と拡充を働きかけていく。また、移駐前と変わらず騒音の実態や市民の負担を受けとめ、市や県の要望を誠意を持って取り組むよう求める。

(基地政策課)

基地問題



片山 原司
(市政改革クラブ)

問 米海兵隊岩国航空基地の事件・事故について

平成30年12月のFA-18とKC-130の空中接触による墜落についての事故報告が大変遅れ、報告内容には規律違反の横行や薬物使用による判断能力に影響する不正服用が報告された。今後の対応を問う。

答 情報提供の速やかな公表と対応を実施する

平成30年12月の空中接触による墜落事故の調査報告については、米軍として初めての言及があった規律違反の横行の実態等の詳細を確認するなど、時間がかかってしまった。また、四つの重大要因の一つに搭乗員らによる睡眠導入剤などの判断能力に影響する処方薬等の不正服用が報告され、医療部門との連携の中、教育、指導を行う。

(基地政策課)

■その他の質問項目

・山口県手話言語条例の制定に
CSN

基地問題



越澤 二代
(公明党議員団)

問 米軍機の市街地上空飛行把握(CSN)

母艦載機移駐により、FA-18等米軍機による市街地上空飛行も見られるなど訓練に伴う騒音状況が市内全体で悪化しており、住民生活に大きな影響を及ぼしている。基地周辺には騒音測定器を設置しているが、基地から離れた錦帯橋周辺などの市街地にも騒音測定装置を設置し、騒音発生回数や騒音レベルを把握することで上空飛行の実態把握が可能になる。市の見解を問う。

答 国へ騒音測定器等実態把握の対応を求める

移駐後1年8か月が経過し、これまで以上に飛行状況の実態把握が必要であり、今後、国に対して基地周辺地域外に対する騒音測定器の設置も含めて、実態の把握のための必要な対応を求めていく。

(基地政策課)

総合支所



小川 安士
(日本共産党市議団)

問 総合支所方式を
総括するべきではないか

全国町村長大会では、政府の新たな圏域行政は周辺部の町村を衰退に追い込む恐れがあり、市町村合併の検証もせず推進することに反対する決議を採択した。岩国市も合併の問題点を明らかにしないと効果的な計画はできない。岩国流の総合支所方式を総括するべきではないか。また、今後は人口減少やコミュニティ崩壊が大きな課題であり、住民パワーの活用が必要ではないか。

答 住民ニーズを
しっかり受けとめて対応する

組織については、総括して課題に対処するという形ではなく、組織の見直しや職員配置、予算編成を進める中で、継続的に検証しながら課題に対応していく。今後も住民ニーズをしっかりと受けとめて効果的な行政を進める。(職員課)

グリーンオアシス



植野 正則
(市政改革クラブ)

問 グリーンオアシスの
ボイラー改修について

平成7年11月に開館したグリーンオアシスは24年が経過している。焼却施設からの熱源供給とともに温水プール等の熱源を担ってきたボイラーも老朽化が進み、既に製造中止となっているため、一旦故障すれば純正部品は調達できない。また、A重油を燃料としていることから、重油の硫黄分による本体内部の腐食は相当進んでいると思う。本体破損ともなれば、長期間の施設閉鎖となる。現在の維持管理の状況で問題はないのか伺う。

答 既存ボイラーの
適切な運転と保守点検を行う

既存ボイラーの適切な運転と年3回の保守点検を行い、必要に応じて補修や部品交換をしながら、温水の供給に支障が出ないよう運転管理をしている。(環境事業課、スポーツ推進課)

■その他の質問項目
・指定管理者制度について

高齢者の居場所づくり



中村 豊
(公明党議員団)

問 高齢者の居場所づくりの
地域連携について

地域における高齢者の居場所づくりを一層拡大していくためには、コミュニティや自治会など地域社会との連携・協力体制は不可欠である。市民と行政の協働があれば、新たな居場所が展開できる。行政を含めた地域との連携・協力体制について伺う。

答 地域・関係機関との
更なる協働を図っていく

地域における高齢者の居場所づくりなどを一層拡大していくため、さまざまな地域の課題について協議する「地域ケア会議」を開催し、地域に即した取り組みが行われている。今後も地域や関係機関・関係団体と協働しながら、高齢者が孤立せず、身近な場所での高齢者の居場所づくりの拡充に向けて継続的に取り組むことで、高齢者の生きがいにつながる地域づくりを推進していく。(高齢者支援課)

錦帯橋芸術祭



田村 博美
(憲政会)

問 錦帯橋芸術祭の
目指す姿について

推進委員会による企画運営ではあるが、市からの委託料で成り立つ事業。どのような視点で開催し、効果や結果を求めていくのか。

答 観光やまちづくりにも
広がる事業を目指す

来場者数は年々増え、特に外国人の方が多く来場している。同じ期間に近隣の会場でのイベントも開催され、相乗効果が図られている。今後も、錦帯橋の素晴らしさを発信するとともに、新たな趣向も取り入れることにより、文化芸術の分野にとどまらず、観光やまちづくり、国際交流、教育、産業といったさまざまな分野にも波及し、広く親しまれるような事業になるよう取り組むとともに、各団体と連携をとりながら文化芸術創造都市の実現を目指す。(文化振興課)

■その他の質問項目
・林業政策と緑化について

ごみの戸別収集



河合 伸治
(公明党議員団)

問 ごみの戸別収集を一日も早く実施を

高齢者や障がい者宅ではごみの持ち出しの困難な方がおられ、今後の増加も予想される。身近な方からの支援・協力が得られない家庭への支援として、ごみの戸別収集が必要である。実施に向けた市の検討状況を問う。

答 令和2年度中の制度開始を目指して協議

高齢者や障がい者のお宅で身近な人の協力が得られないなど一定の要件を満たす方には、ごみの戸別収集を行う制度の整備が必要である。制度の設計に当っては、公共サービスの向上だけでなく、公平性にも配慮しながら具体化していく作業が必要となる。現在、令和2年度中の制度開始を目指して協議を行なっている。

(環境事業課、高齢者支援課、障害者支援課)

■その他の質問項目

- ・医療機関への通院手段の確保について
- ・Society5.0社会に向けた

ジビエ加工処理施設



広中 英明
(市民クラブ・草の根)

問 岩国市の玖北地域にジビエ加工処理施設が必要

玖北地域にジビエ処理施設を整備する必要があると考える。それは効果的な有害鳥獣対策になり、猟友会の経済的な補填につながる。また販売や加工等で雇用促進にもなり、ジビエを利用した特産品をつくることで地域おこしになると考えるが、当局の見解を伺う。

答 国、県、対策協議会で方策を協議検討していく

ジビエの有効活用を進めることは、捕獲者の所得を向上させ、捕獲に対するインセンティブも高まることで鳥獣被害防止につながり、また地域資源として活用することで地域の活性化が図れると考える。国、県、山口県東部鳥獣被害広域対策協議会等で方策を協議し検討していく。(農林振興課)

■その他の質問項目

- ・斎場について
- ・地域おこしについて

河川の整備計画



矢野 匡亮
(憲政会)

問 河川の整備計画について問う

現在進められている工事は災害復旧であり、元の機能まで回復させる事業であることから、今後、災害が発生し得る課題がある場所についての対応を問う。

答 効果的な維持管理に努める

昨今の気象状況を鑑みた場合、今後においても予算の確保は必要と考えている。可能となる予算の範囲において優先順位を定め、効果的かつ効果的な維持管理・改修に努める。

県管理河川については重点要望書を提出しており、緊急性の高いものについてはその都度県に申し入れている。さらに、従前の河川改修予算に加え、県の再編交付金を活用するよう要望している。(河川課)

■その他の質問項目

- ・子育ての総合支援体制について
- ・心身障がい児への支援について
- ・一元管理への取り組みについて

長寿支援タクシー料金助成制度



大西 明子
(日本共産党市議員団)

問 長寿支援タクシー料金の助成制度の改善を

私はこの制度が本来に必要な人が利用できるように、第一に距離の緩和、第二に運転免許証を持っている移動手段のある人は対象にしない、第三に身体的弱者の方の救済等に継続して改善を求めてきた。制度の改善に向けた検討結果と、令和2年4月1日から実施できるのかを問う。

答 来年度中の事業に向けて制度設計に取り組み

今年度3回のタクシー料金助成制度改正に向けた検討会を開催し、アンケート調査も実施した。検討会では、対象年齢は75歳以上が妥当であること、距離要件を撤廃し地域格差が起らないよう配慮すること、運転免許証を所持しない高齢者に交付することなどの意見があった。市としては来年度中に本事業を実施したいと考えている。(高齢者支援課)

食品ポストの設置



姫野 敦子
(リベラル岩国)

問 食品の有効活用に
ポストを設置しては

賞味期限の残っている食材を廃棄せずに活用する『フードバンク』の取り組みが各地で行われ、生活困窮者などに活用されている。宇部市でも7月から市役所やスーパーにポストを設置し、多くの有効利用がなされている。岩国市でも取り組んでどうか。

答 食品ロスの削減に有効な
方策を検討する

岩国市では「生活困窮者自立支援事業」として市社会福祉協議会がこれまでフードドライブに取り組んでいるが、食品ロスの削減などに対する市民の意識改革のためにも検討してみたい。(社会課)

■その他の質問項目

- ・ 河川のしゅんせつについて
- ・ SNS等による子どもへの犯罪の防止について
- ・ 除草剤による土壌汚染について
- ・ 錦帯橋の桜の老木化の対応について

錦帯橋の未来



中村 雅一
(憲政会)

問 錦帯橋の未来について問う

(仮称) 錦帯橋資料館整備事業の新たな施設整備計画の進捗状況及び架橋技術の継承について問う。

答 名勝錦帯橋保存活用計画を
踏まえて検討する

(仮称) 錦帯橋資料館は、付随する駐車場、並びにこれらと一体となる公共空間を構成する(仮称)岩国一丁目広場をあわせれた整備事業として検討を進めている。架橋技術の継承については、小中学生に「ものづくり体験」を通して将来技術者へ進むきっかけづくりをするとともに、市として木造建築技術を学ぶための環境整備について、平成27年度より毎年県に要望している。(錦帯橋課)

■その他の質問項目

- ・ 名勝錦帯橋保存活用計画の策定状況について
- ・ 錦帯橋の残し方について

(仮称) 飛行艇ミュージアム



石本 崇
(市政改革クラブ)

問 (仮称) 飛行艇ミュージアムの
建設について

(仮称) 飛行艇ミュージアム建設計画の進捗状況と今後の取り組みについてお尋ねする。

答 実現に向けて取り組んでいく

10月に行われた自由民主党山口県支部連合会主催の移動政調会の場でも、本市の要望の一つとして国会議員や県議会議員に要望を行い、さらに内閣改造後の防衛大臣、副大臣にも会って要望を行い、前向きな回答を得た。

今後もあらゆる機会をとらえて要望すると共に、国に対して協議や意見交換ができる環境づくりをお願いし、実現に向けて取り組んでいく。気運醸成については、企画展等の開催について商工会議所等と検討・調整しており、来年度の予算化に向けて準備を進めている。(政策企画課)

消防団の機能強化



丸茂 郁生
(志誠いわくに)

問 消防団消防操法大会を通じて
団の機能強化を問う

市や県で開催されている消防団消防操法大会に私自身も基本操法で出場したが、課題である応急操法の訓練場の確保や消防団の機能強化のための車両等の更新について問う。また、女性消防団の活躍を願い、大会出場についての考えを問う。

答 消防団の
組織力・機動力向上を目指す

消防団の能力をさらに向上させるためにも、遊休地や市有地の一部等、借用可能な土地の情報を収集し続け、機会を逃さず訓練場の確保に努める。消防団車両等については、大規模災害に備え、性能劣化が著しいものは速やかに更新し、市民の安心・安全を確保していく。また、女性が活躍しやすい消防団組織の構築に努める。(危機管理課)

■その他の質問項目

- ・ 錦帯橋の世界文化遺産登録について

日の出公園（温水利用型健康運動施設）



重岡 邦昭
（市民クラブ・草の根）

問 日の出公園（温水利用型健康運動施設）について

事業費約15億円の施設であり、費用対効果が問われる。令和2年3月に完成する「日の出公園」であるが、市街地より遠く、移動手段を持たない高齢者、児童・生徒の皆さんにとって利用することが非常に難しい。移動手段、道路改良、安全対策等、多くの市民の方に利用していただくための対策を問う。

答 多くの市民の皆様が利用できる施設に取り組み

移動手段の確保については、いわくにバス株式会社と協議を進めている。道路改良は公園までの延長約2km、幅員は10m、片側に歩道を設置する計画で、今年度は桂町側の一部を整備する予定である。利用向上については「広報いわくに」等で周知したい。多くの市民の皆様が利用しやすい施設となるよう、取り組んでまいりたい。

（環境施設課、道路課）

岩国駅東口の再開発



瀬村 尚央
（市政改革クラブ）

問 岩国駅東口の再開発の概要及び完成時期を問う

岩国駅東口の再開発はいつまでに完成するのか。1階は多くの市民が利用できる交流スペースを備え、市が購入すると聞いているが、市民のニーズを把握し、駅前にあふましい施設にすべきである。どのような施設を計画しているのか、また整備に係る費用及びその財源を問う。

答 令和3年度中に完成予定、整備内容は検討中

この再開発事業は「株式会社いきいき東」が進めており、令和3年度中に事業が完了する予定と聞いている。完了後は市が購入する予定であるが、金額及び財源は未定である。施設については岩国市中心市街地活性化基本計画に基づいて検討しており、多くの市民にとって快適で魅力ある、誰もが訪れたいくなるような「まちづくり」に取り組んでまいりたい。

（中心市街地整備課）

学校施設の改修



長岡 辰久
（日本共産党市議団）

問 老朽化した学校施設の改修を

市PTA連合会が市長と教育長に出した陳情書には、校舎の雨漏りの改修、防音壁の建設、網戸の設置、玄関前の舗装等、切実な訴えがあふれている。他市に比べ校舎の新築が遅れ、トイレの洋式化は全国の平均値を大きく下回っている。校舎、教室は児童・生徒が長時間生活する空間であり、学習環境である。他の施策を延期しても早急に改修を望む。

答 施設整備の方針を定め、速やかに取り組む

トイレの洋式化及び空調設備の設置は喫緊の課題であり、施設整備の方針を定めて、速やかに取り組んでいきたい。

（教育政策課）

■その他の質問項目

- ・米軍基地問題で米軍の規律違反は他の部隊に拡がっていないか
- ・核兵器廃絶都市宣言を生かした施策を行うことについて

市議会を傍聴しませんか

市議会では、市民の皆様暮らしに関する重要な問題について審議されます。

本会議と委員会の傍聴は、市議会活動に触れることのできる最も身近な方法です。

本会議と委員会の傍聴を希望される方は、開催日に、市役所6階の傍聴受付または議会事務局までお越しください。（傍聴券の交付を受けてください。）

【定員：本会議66人、委員会7人】



（本会議場）

【お問い合わせ先】 議会事務局 議事課 TEL(0827)29-5193 FAX(0827)21-1001

議案第152号 指定管理者の指定について

問 本議案の対象施設である周東森林体験交流施設「丸太村」の利用者数及び収支の状況について問う。

答 利用者数については、平成30年度が1万5,376人、平成29年度が1万5,787人となっている。収支については、平成30年度は収入が794万7,524円、支出が783万3,195円、平成29年度は収入が807万8,317円、支出が801万5,826円となっており、利用者数と収支はともにほぼ同様の水準で推移している。

問 施設の維持管理の現状はどうなっているのか。また、今後の施設の運営に関して、どのような目標を設定しているのか。

答 この施設は建築から相当の年数が経過していることから、利用に支障を来さないよう適宜の修繕は必要であるが、指定管理者により適正な維持管理が行われている。また、今後の運営については、現在、さまざまな団体と協働してイベント等を開催しているほか、インターネット等を通じて情報発信しているところであり、さまざまな方法で本施設のPRを行うことにより、県外からの誘客、特にリピーターの確保を図り、利用者数の増加につなげていきたいと考えている。

結果：全会一致で可決

経済常任委員会に付託されたその他の事件も、全会一致で可決すべきものと決しました。

経済



委員長 松川 卓司

副委員長 小川 安士

委員 片山 原司

越澤 二代

藤本 泰也

細見 正行

松本 久次

議案第133号 令和元年度岩国市一般会計補正予算(第2号)

問 教育費の中学校費の学校施設整備費に関し、建設関係工事請負費の補正対象となっている学校以外の学校施設においても、緊急を要する工事があるものとするが、どのように優先順位をつけて対応しているのか問う。

答 児童・生徒の安全にかかわるものについては最優先で実施しており、修繕等の小規模の工事については、修繕予算の範囲内で、各学校から提出される点検依頼書に基づき、スピード感を持って順次実施している。また、大規模の工事については、学校等からの要望をもとに予算要求し、計画的に実施している。

問 債務負担行為補正に関し、国際交流支援員常駐配置事業について、現在の状況について説明を求める。

答 本事業については、市内の各中学校区に1人、英語が話せる外国人を国際交流支援員として配置するものである。現在、14人が活動を行っており、中学校の一職員として、地域の方々にも英語に触れ合う機会を提供している。具体的な活動としては、学校においては、先生の指導を補佐する立場で授業に参加して、生徒にネイティブな英語を聞いてもらっており、地域においては、英会話教室の開催やサークル等の地域活動への参加など、地域とのかかわりを深める活動を行っている。

観 このような事業が実施されていることを知らない市民も多くいると思われることから、より一層の周知徹底を図るよう努めてもらいたい。

結果：全会一致で可決

教育民生常任委員会に付託されたその他の事件も、全会一致で可決すべきものと決しました。

教育民生

委員長 武田伊佐雄

副委員長 丸茂 郁生

委員 石本 崇

桑田 勝弘

桑原 敏幸

長岡 辰久

姫野 敦子

矢野 匡亮

議案第143号 岩国市日の出公園条例

問 令和2年4月供用開始予定である日の出公園への交通手段について、いわくにバス株式会社と協議を進めていると聞いているが、その中でルートや運賃等に関してはどのように考えているのか伺う。

答 ルート等については、JR岩国駅東口から本公園まで1日4往復の運行を考えている。運賃については、路線バスの延長と捉えていることから同等の金額を想定しているが、将来的に利用状況によっては、その見直しを行う必要も生じてくるものと考えている。

観 本公園の設置目的は、市民の健康の保持及び福祉の増進に資することであり、このことからすれば、市民にとって安全で利用しやすい施設となるよう、バス路線や街路照明の充実等を図ることが大変重要である。また、本公園内に設置する温浴施設については多くの利用者が見込まれることから、保健師を派遣して入浴前後の血圧測定・健康相談を実施するなど、関係部署と連携して、市民の健康増進につながる一層の取り組みを進めていただきたい。

結果：全会一致で可決

建設常任委員会に付託されたその他の事件も、全会一致で可決すべきものと決しました。



委員長 山本 辰哉
副委員長 中村 豊
委員 植野 正則
貴船 斉
中村 雅一
広中 英明
藤重 建治

議案第133号 令和元年度岩国市一般会計補正予算(第2号)

問 本市のふるさと応援寄附金の受け入れ状況は、今年度末で8,441万円が見込まれるが、寄附をされる方においては返礼品目的、市においては返礼品頼みになっているように見受けられる。制度の基本理念に立ち返って、「ふるさとに対して貢献・応援をしたい」という思いを持っていただけるような仕組みづくりが必要ではないか。

答 寄附の申し込みの際には、希望する寄附金の使い道として、地域活性化に関する事業、地域福祉活動に関する事業等6つの事業の中から1つを選択できるようになっており、あわせて、実際に寄附金を充当して実施した事業について、ふるさと応援寄附金に係る市の取り組みについても関心を持っていただけるよう努めている。今後とも改善できるところは改善してまいりたい。

結果：全会一致で可決



委員長 広中 信夫
副委員長 田村 博美
委員 石原 真
大西 明子
片岡 勝則
河合 伸治
重岡 邦昭
瀬村 尚央

議案第150号 指定管理者の指定について

問 本議案の対象施設である由宇文化スポーツセンター等は、5年ごとに指定管理者を選定しているが、他市では指定管理期間をより長期に設定している事例もある。長期の設定により、安定した雇用の確保や柔軟な行事への対応が考えられることから、本市も同様の制度を導入することはできないのか。

答 横浜市は、指定管理期間を10年とする「政策協働型指定管理方式」を採用しているが、特に芸術文化を担う専門性を要する2施設限定と承知している。本市においては、専門性を要する施設としての位置づけの考え方など、制度設計上さまざまな課題があり、将来的な検討課題とさせていただきたい。

結果：全会一致で可決

総務常任委員会に付託されたその他の事件も、全会一致で可決すべきものと決しました。

各常任委員会の委員

令和元年11月15日に開催された市議会臨時会において、経済、教育民生、建設、総務の各常任委員会の委員が選任されました。



防災・減災対策推進調査特別委員会の中間報告(令和元年12月定例会)

防災・減災対策推進調査特別委員会は、平成30年7月豪雨災害を踏まえた課題等を整理・検証した上で、今後の防災・減災対策について調査・検討を行うことを目的として設置したものであり、具体的な調査事項は、「平成30年7月豪雨災害の発災要因に関すること」「避難所等の運営体制に関すること」「平成30年7月豪雨災害の復旧作業の進捗状況に関すること」「岩国市地域防災計画に関すること」「災害ボランティアの受け入れ体制の整備に関すること」「その他防災・減災に関して特別委員会が必要と認めるもの」としております。

昨年12月の設置以来、8回にわたる委員会を開催し、加えて復旧工事事業者からの意見聴取、市内外の被災現場に委員派遣を行うなどの調査を重ねてまいりました。

委員 長 河合 伸治
副委員 長 山本 辰哉
委員 小川 安士
委員 片山 原司
委員 武田伊佐雄
委員 広中 英明
委員 藤重 建治
委員 細見 正行
委員 松本 久次
委員 矢野 匡亮

○委員会の開催状況

日 時	内 容
平成30年12月21日	防災・減災対策推進調査特別委員会を設置
平成31年1月15日	委員会の進め方について協議
平成31年2月21日	平成30年7月豪雨災害の被災状況について調査
平成31年3月25日	平成30年7月豪雨災害の被災状況について調査
平成31年4月25日	復旧工事事業者との意見交換
平成31年4月26日	玖西地区の被災現場視察
令和元年6月21日	災害復旧作業の進捗状況について調査
令和元年8月19日	委員による意見交換
令和元年9月27日	委員による意見交換
令和元年10月17日	岡山県倉敷市真備町において、被災現場の復旧状況や、小田川合流点付け替え事業について調査及び被災現場視察
令和元年10月18日	広島県呉市において、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた呉市の取り組みについて調査
令和元年11月13日	島田川流域の被災状況や河川整備計画に基づく河川改修工事の内容について調査及び被災現場視察
令和元年11月26日	災害復旧作業の進捗状況について調査



岡山県真備町視察



島田川視察

「都市活力再生・推進調査特別委員会」行政視察報告（令和2年1月14日）

都市活力再生・推進調査特別委員会では、山口市の新山口駅北口で整備が進められている「新山口駅北地区拠点施設整備事業」について視察しました。

この事業は、新山口駅周辺のにぎわいの創出と市及び県央部の活性化を目指すプロジェクトである「ターミナルパーク整備」の一環として行われるもので、その拠点施設の一つである「産業交流スペース」には、産業交流を支援する公的機関などが入居し、起業創業支援や中小企業支援、産業人材の育成等に取り組むこととされています。

現在、岩国市が県に整備を要望している、県東部地域の産業振興支援機能を持つ「山口県東部産業振興センター（仮称）」と共通する点も多く、今後の特別委員会の調査に大変参考となる視察となりました。

委員長	松川 卓司	委員	越澤 二代
副委員長	丸茂 郁生	委員	瀬村 尚央
委員	石本 崇	委員	田村 博美
委員	貴船 斉	委員	長岡 辰久
委員	桑原 敏幸	委員	姫野 敦子



「岩国市議会ホームページ」のお知らせ

岩国市議会ホームページには、市議会に関する情報を掲載しています。

市民の皆さんにとって、市議会がこれまで以上に身近な存在となるよう、今後も内容の充実を図るとともに、より分かりやすい議会情報を発信してまいります。

※議会だよりは、議会ホームページにも掲載しています。

☆ホームページのURLは
<http://www.iwakunishigikai.jp> です。



岩国市議会ホームページ編集委員会

委員長	姫野 敦子	委員	小川 安士
副委員長	瀬村 尚央	委員	中村 豊
		委員	矢野 匡亮



■委員長	丸茂 郁生
■副委員長	田村 博美
■委員	桑田 勝弘
	長岡 辰久
	細見 正行

いわくに市議会だより編集委員会

議会だよりは、平成19年2月に第1号を発行し、今回が第53号になります。基地問題や災害対策、子育て支援など、岩国市が直面する課題について議会が果たす役割の重要性を強く認識し、議会の審議内容や活動状況等をよりわかりやすくお伝えできるよう、編集に取り組んでまいりたいと考えております。

私たち議員は、これまで以上に市民の皆さんの声に耳を傾け、市政に反映できるように、自覚と責任を持って緊張感のある議会運営を目指してまいります。

編集後記

発行／岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001
編集／いわくに市議会だより編集委員会 印刷／フジ美術印刷株式会社



古紙パルプ配合率
70%再生紙を使用

いわくに市議会だより 令和2年(2020年)2月15日号 12